

出会い、徹底した掃除は
人を変える

掃除は「人間形成の場」

茨城県

塚越

康男

私は、鍵山様に何を学んだか！ まず掃除ではないんです。1994年最初にローヤルで会ったとき、よし、この人に「学ぼう」と心に決めました。

①鍵山様の立ち居振舞い②ものの見方、考え方 この2つです。どこから来るのか、身についたのか！ 私なりに考えました。トイレ掃除を実践する上で、徹底して磨き上げるといふ、そのことを心がけています。決して中途半端では終わらせない。今日までずっと、毎回そうしてきました。歴史

を刻むようにやり続けるんだ。ヒマラヤの重厚な白さを得られるように続けるんだ：いつもそんなことを考えながら磨いています。

お陰様で、私は知らず知らずのうちいろいろなことが身についたようです。自分はそんなつもりはないのだけれど、「あんたは『生まれ』がいいんでしょう」「いつもおだやかなんですねえ」「もっと話して行けよ、もう帰んのかよ、今度はいつ来るんだい？」

校長室に「こんにちは」と入ったら、校長先生の最初の一言が、「あ、本物だ」と。初めて挨拶に行った学校で、私もビックリしました。

鍵山様みたいな人、天皇、皇后様のたたずまいを、いつも心に置いて生きています。一人でもこん

な人が増えていけば、世の中は良くなると思いなながら：人が世の中を創っていくのだから。

今よりも後がよくなつてほしい。まさに私たちのトイレ掃除（学校を主にした）の実践の場がこのことを意味しているのではないのでしょうか？ お掃除の会で、素晴らしい話を聞き、トイレ磨きをすることによって自分自身を今よりも高める「自分磨き」に思いを寄せているのではないのでしょうか。

これも「凡事徹底」。鍵山様の教えなのです。まだまだ待っている人はたくさんいます。多くの学びを伝え、教えてください。

掃除で得たこと

東京都

阿部 あべ

正俊 まさとし



私は、仕事で周囲に迷惑をかけることが多くありました。原因は自分の心の持ち方にあると思います、これを改めるための本を探していました。そこで出会った本が、鍵山秀三郎著『ひとつ拾えばひとつだけきれいになる』でした。

特に印象に残ったのは、「十年偉大なり」です。鍵山相談役は、最初の10年は1人で掃除をしていましたが、徐々に賛同者が現れ、今では全国に掃除の輪が広がっています。

私は相談役がやってこられたことは真似できませんが、足元のゴミ拾いならできると思い、2017年から会社の通勤往復時にゴミ拾いを始めました。当時は名古屋におりましたが、2019年の東京異動をきっかけに、東京掃除に学ぶ会の街頭清掃に参加するようになりました。

コロナ禍で通勤しなくなった今は、近所の小さな公園の掃除をしています。お酒のゴミや吸い殻が多く捨てられている汚い公園ですが、どうせやるなら汚いと

ころがいいと思って始めました。

「例外を作らない」と決めて、毎朝15分、休日は1時間くらい掃除しています。まだ1年と少しなので自分の心に目立った変化は感じませんが、毎朝掃除を続ける習慣が身につきました。

掃除で得たこと。

1つ目は「気持ちがいい」ことです。汚かったところがきれいになるのは爽快です。気持ちよく1日をスタートできます。

2つ目は、仲間に会えることです。1人掃除では気づかない学びもあり、励みになります。

どちらも鍵山相談役の本に出会わなければ得られなかったことです。「ひとつ拾えばひとつだけきれいになる」精神で、今後も掃除を続けていきます。

ルーマニアの掃除道

ルーマニア ジュリアン・ブニトゥ
Julien Bratu



掃除道の歴史と精神は、社会の中で継続的に効果を発揮することが期待されます。

私は2008年、岐阜県の田中義人氏の会社を訪問して、掃除が社内外で行われていることに強い感銘を受け、日本を美しくする会

との連携が始まりました。

2011年、ルーマニアの都市を美しくする協会をつくりまし、活動を「パブリック5S」と名付けました。新型コロナ感染拡大前年の2019年まで、毎年日本から田中氏らがルーマニアに来て、掃除の指導をしました。

2013年には、鍵山秀三郎氏夫妻と田中夫妻に来てもらって、アルバユーリア、クルージナポカなどの都市を回りました。鍵山氏からは、活動の有用なアドバイスとともに、真理を表現する美しい言葉「心あるところに宝あり」をもらいました。

2011年以来11年間、私たちは11都市で、3千人以上のボランティア、15人の市長・副市長ら

と活動し、21か所のTV局で広報し、計8千km以上を旅してきました。そして、ルーマニアの活動は、ハンガリー、トルコ、チェコスロバキアなど欧州各国に伝播する触媒となりました。

掃除は、教育上も非常に大きな効果があります。ボランティア活動をすると、街や学校、公園などを美しくかつ整然とする責任を、より自覚するようになります。

最大効果の一つは、クルージナポカ市ジョージ・コスバック校です。活動5年の2018年、ロッタプリント・ロッタ社長の引率で、生徒16名を含む23名が日本を訪問し、京都恵那東京で9日間の掃除研修をおこないました。

今後も日本の皆さまと掃除活動を続けたいと念願しています。

「夢」

愛知県

安井^{やすい}

佑騎^{ゆうき}



そして、私の現在の夢は「高校野球の監督とお掃除の二刀流(両立)」である。

2010年、トイレ掃除に出会って人生が変わった。掃除を続けることで、広がるご縁、深まる感性、身体中に駆け巡るエネルギー。今まさに「掃除の力」を確信しない日はない。職場のトイレ、教室、下駄箱の掃除を徹底すると、荒みが減り、澄んだ空気が流れる。

また、宮城、富山、愛媛、京都、伊東、東京、熊本、鹿児島、台湾、フィリピンなど、「掃除」を通してたくさんの方と出会うことができた。

2018年、地元で若い人を含む「犬山をきれいにする会」を発足した。月1回だが、何とか続けている。正直、高校野球の監督を

しているいま、月1回の街頭清掃と便教会総会への参加だけで一杯である。

2017年、実は高校野球の監督の道を諦め、「お掃除道」に専念しようかどうかと迷って、鍵山相談役に尋ねた。「お掃除と高校野球監督の両立は、できますか？」鍵山相談役は、真つ直ぐな瞳で私を見て、「はい！ できます」とおっしゃった。相談役に答えをいただいた以上、進むべき道は、1つだ。

鍵山相談役の心願「世の中から心の荒みをなくす」ために、いまいる場所で一生懸命、掃除道の普及に努めたい。そのためには、逃げず自分自身がその核となつて、信じたことをやり抜くことが大切である。感謝。

(484 0076 愛知県犬山市橋爪地藏下30・4)

人は、誰でも夢を持っている。私も少年期は「プロ野球選手」、青年期は「高校野球の監督」であった。ありがたいことに、いま地元の高校の野球部監督をさせていただいている。

学校授業としての トイレ掃除

滋賀県

加藤

一男



「滋賀掃除に学ぶ会」では、県教育委員会の出前授業の支援プログラムとして、トイレ掃除を学校で行なっています。クラス全員参加ですので、やりたくない生徒さんもあります。このような生徒さんには、無理にさせないで温かく見守るようにしています。

掃除が始まっても、廊下に座り込んでいる生徒さんがいました。体調不良？と聞いてみたが、そうでもない様子…。

ときどき目配りしていると、ハンマーを手に取りました。チャンネル到来です。私は、排水口へと誘います。皿が動かない。タイヤレーバーを、皿に当ててトントンしてもらいます。やっぱり動きません。

方向を変えてトントンします。すると少し動きました。生徒さんがニコツとしました。さらに方向を変えてトントンすると、皿が取れました。生徒さんの顔に笑みが浮かびます。

釣鐘も最初はまったく動きません。タイヤレーバーを当てて、方向を変えてトントンしてくれまし

た。ようやく取り出すことができました。事前に、どうにもならない排水口だと聞いていたので、「君の努力で解決したよ。ありがとう」と言いましたら、もう顔「二面ニコニコです。彼はピンセットを取りに行き、中のゴミをきれいに取り出してくれました。

先生は、廊下にいた生徒さんに掃除をするよう幾度となく注意していましたが、動きません。

しかししばらくすると、その気になった生徒さんを見て、普段見ない彼らの一面を発見されたようです。長所を見つけてほめる、学習指導のヒントかもしれませぬ。

トイレ掃除は、先生にも生徒さんにも多くの学びが秘められていると思います。

素晴らしい出会いに感謝

福岡県

十時^{ととき}

宏徳^{ひろのり}



1996年、第一回福岡掃除に学ぶ会の会場として博多中学校を提供した際に、鍵山相談役の凡事徹底のお話や、素手素足でトイレ掃除をされる姿に感動しました。

第二回は、妻が勤務する高宮中学校で五十周年記念行事に合わせた開催でした。鎌田善政

社長が鹿児島から準備された重機により、校舎周りの側溝がみごとにきれいになりました。

定年退職後の2000年、ブラジル掃除に学ぶ会に参加しました。亀井民治団長には適切なご指導をいただき、主催者のブラジル在住飯島秀昭氏が、掃除道を異国にまで広げようとされている高い志に感動しました。

2001年、愛知県の高野修滋先生が「便教会」を創設されました。私も掃除道を教師に伝えたいと考えていたところ、2009年市教育委員会が発表した「新しい福岡の教育計画」に、「あいさつ、掃除、自学、立志を、学校・家庭・地域が一体となって取り組む」とありましたので、この「掃除」を支援したいと考えました。

この年、「掃除で謙虚な教師に！」を掲げて、ローヤル福岡支店の塩屋一角氏ご指導のもと、教師や市教委の職員40名で「福岡便教会」を立ち上げました。

「年に15回程度、教師が子どもや保護者とトイレ掃除研修」を行い、また「教育センターの初任者研修にも掃除道の講座」が新設されました。初任者150〜350名に対応するために、九州ブロックや下関などの掃除に学ぶ会、日本を美しくする会本部などの支援をいただきました。

掃除道に出会い26年、妻とともに多くの善友から人としての在り方を学び、充実した時間が持てて、退職後の人生が豊かになりました。感謝しています。

(81・24)福岡県粕屋郡篠栗町中央5・10・31

「一身二生」の生き方

山口県

松岡 まつおか

秀男 ひでお



「人間は、一生のうち逢うべき人には必ず逢える、しかも一瞬早すぎず、一瞬遅すぎないときに」
鍵山相談役との出逢いは、まさにこれでした。

掃除を始めて1年後の2006年6月、「下関掃除に学ぶ会第百回記念大会」に参加し、初めて相

談役のお話を拝聴しました。

笑顔で謙虚に話されるそのお姿は、「掃除を通して自分自身の心を磨く」実践を長年続けてこられた賜物だと、強く感動しました。それからの10年は掃除優先の日々を送り、県境を越えて多くの方とのご縁もいただきました。

私は相談役の薫陶を受けて以来、県中部の山口市に「掃除に学ぶ会」を立ち上げるといふ志を持ち続けていました。

2018年、山口市佐山に鍵山相談役ゆかりの「朴の森」が整備されましたが、その前年の2017年4月、鍵山幸一郎さんはじめ多くの皆様のご支援をいただき、岡本拓也さんと共同で、「朴の森」を拠点とした念願の「山口市掃除に学ぶ会」を立ち上げました。

私は当時77歳という年齢が少し不安でしたが、相談役が健康でいらつしゃるうちに、そして立ち上げのときには相談役に来ていただきたいとの気持ちで勝ちました。

「一身二生」(いっしんにしよう)という言葉があります。一人の人間が、一生であたかも二度の違う人生を送るような人生という、福沢諭吉の言葉です。

下関の第百回大会で、北九州市の池田繁美塾長と出会い、「素心学塾」で10年間学びました。

私は、公務員人生40年の「一生」のあと、「鍵山掃除道」と「素心学塾」で自分を見つめなおす「二生」を送っているように感じております。